

# 現在直面する3つの課題

新型コロナウイルス感染症対策分科会

令和2年12月23日

# 3つのシナリオ

3つのシナリオ提言  
静かな年末年始提言  
12月11日分科会提言

都道府県知事による  
様々な対策

12月11日

シナリオ3

沈静化提言  
11月25日分科会提言

判断

強い対策提言  
11月20日分科会提言

シナリオ2

緊急提言  
11月9日分科会提言

提言を踏まえた  
政府の取組  
11月27日政府対策本部

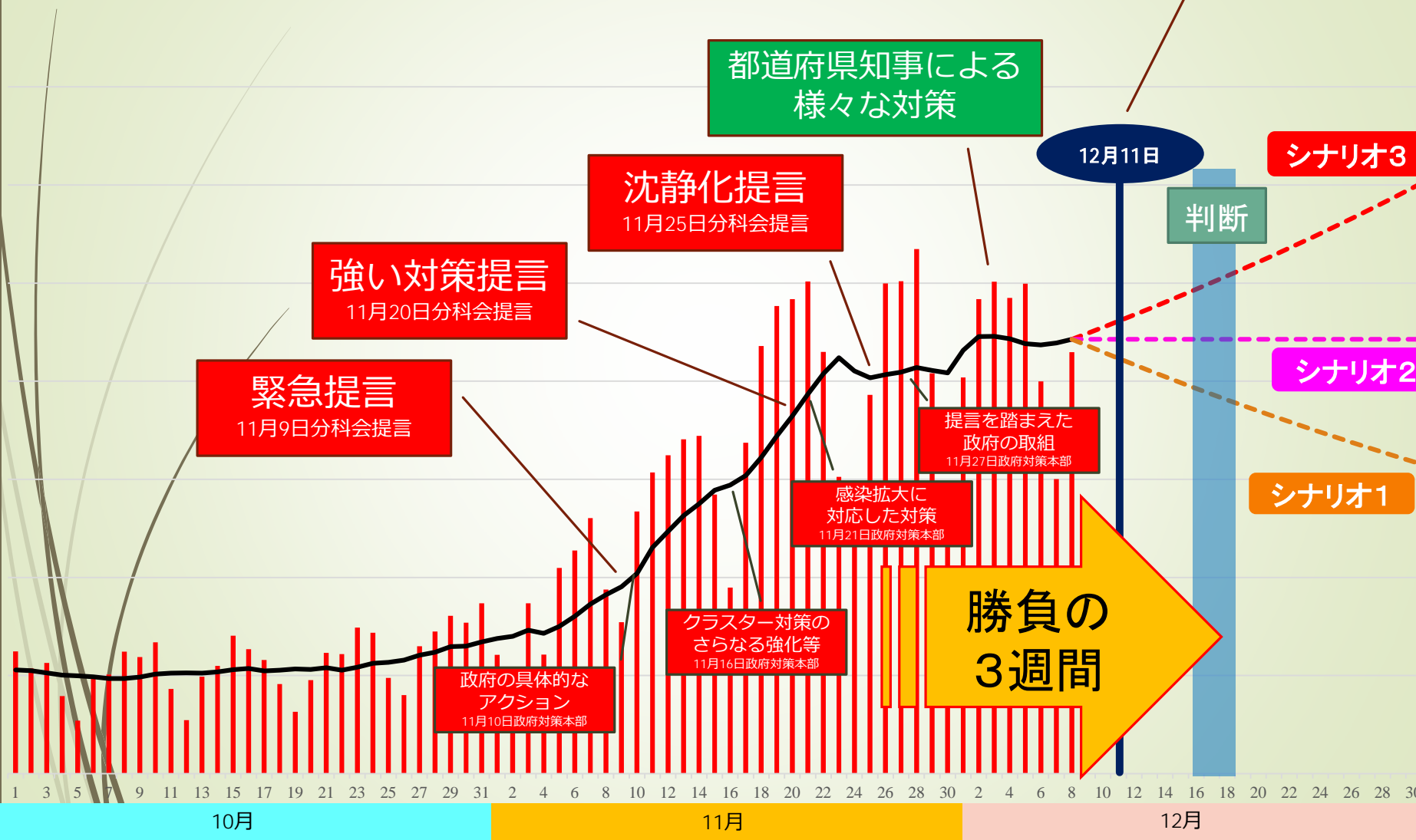
シナリオ1

感染拡大に  
対応した対策  
11月21日政府対策本部

勝負の  
3週間

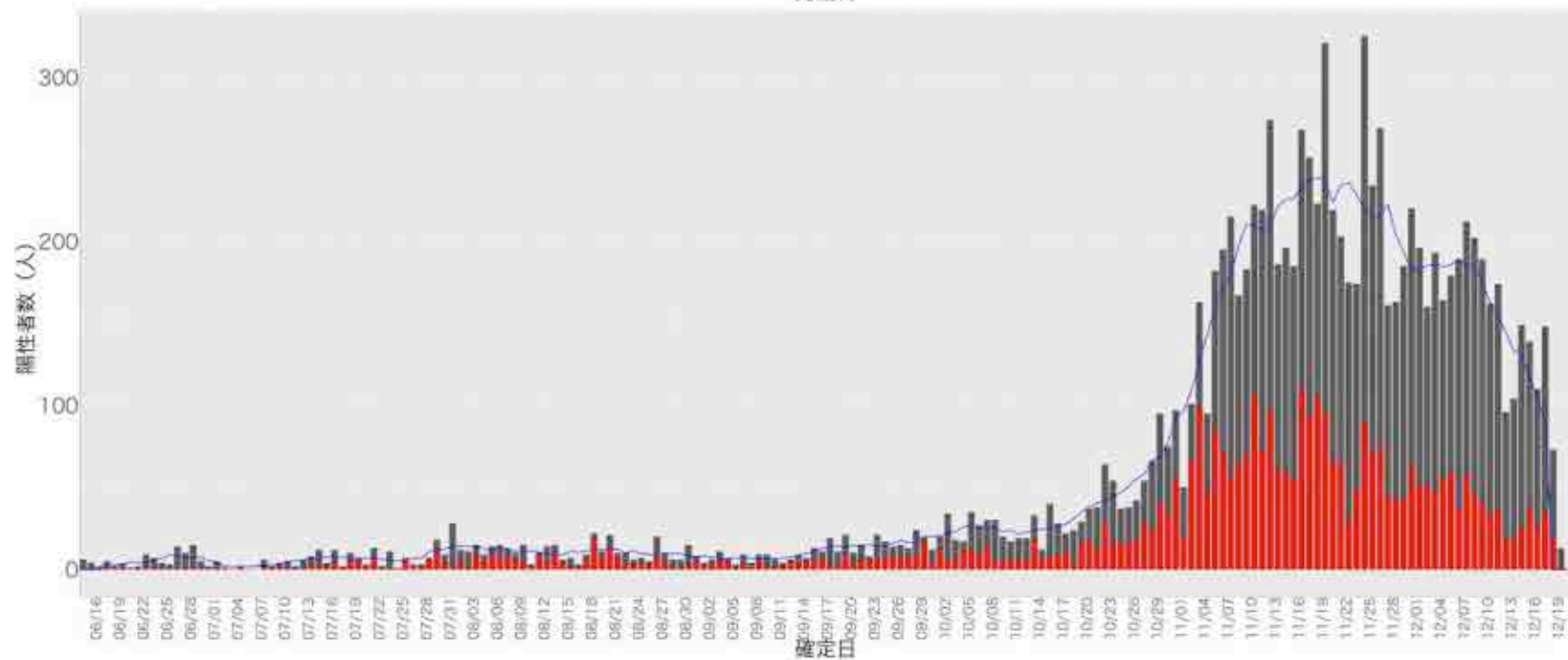
クラスター対策の  
さらなる強化等  
11月16日政府対策本部

政府の具体的な  
アクション  
11月10日政府対策本部



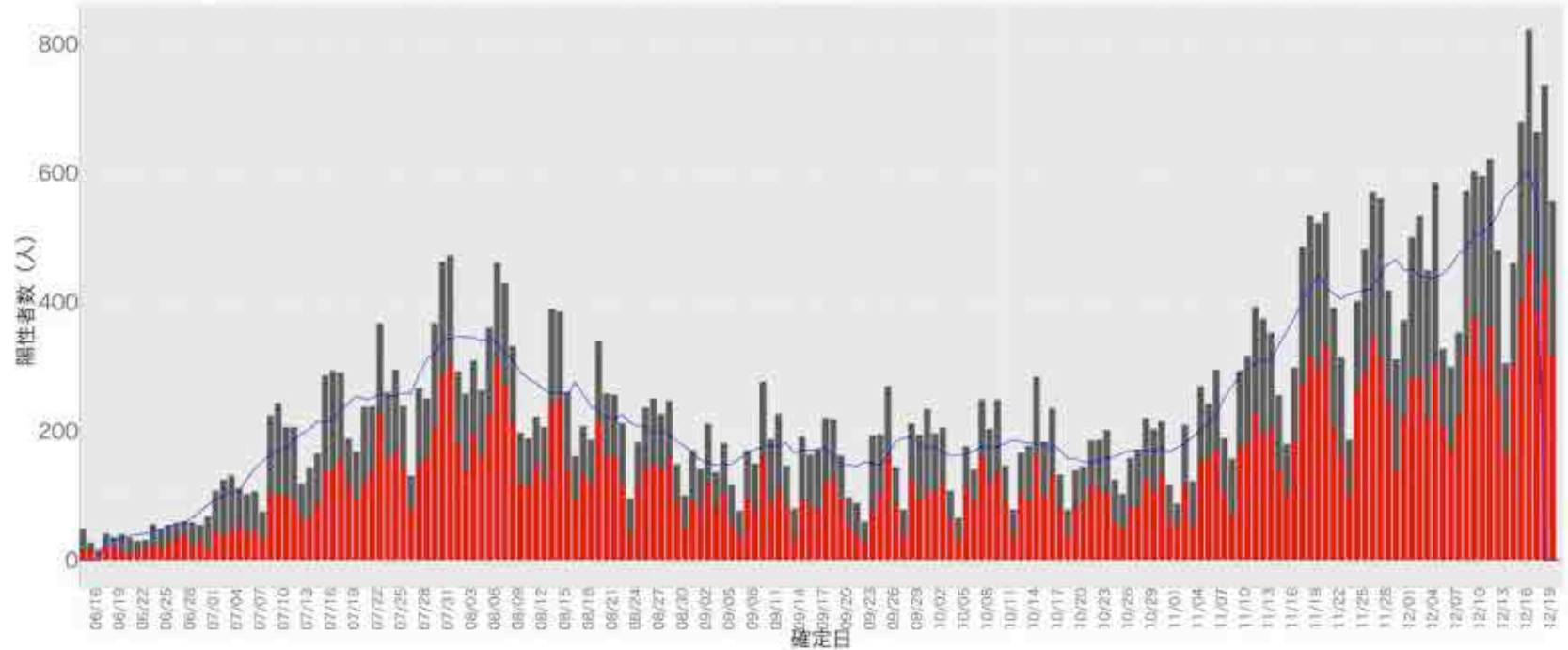
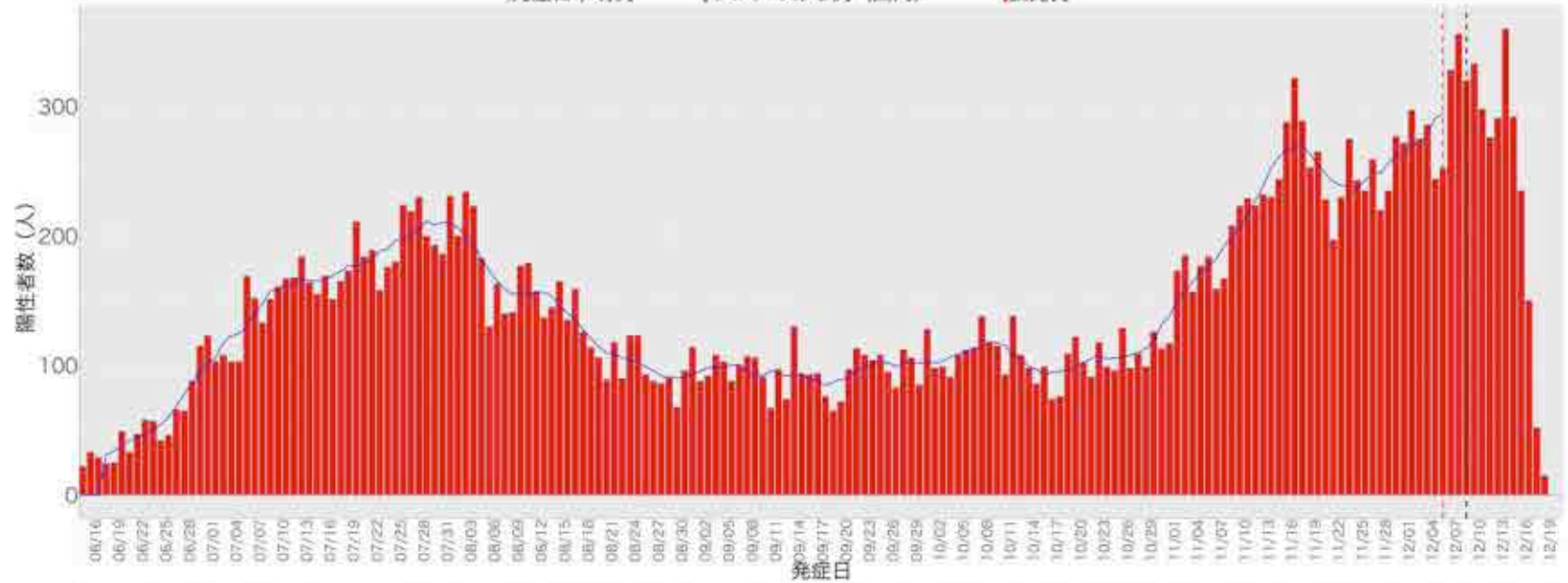
※報告数はイメージ

# 1. 北海道



# 13. 東京

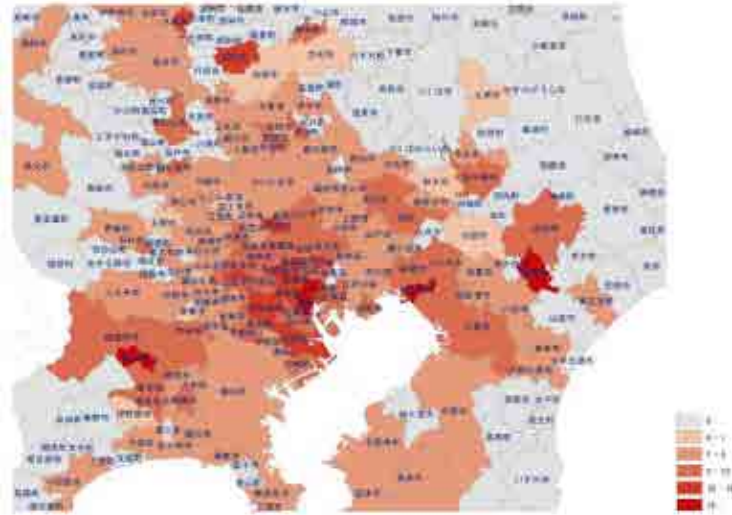
発症日不明例    リンクのある例（国内）    孤発例



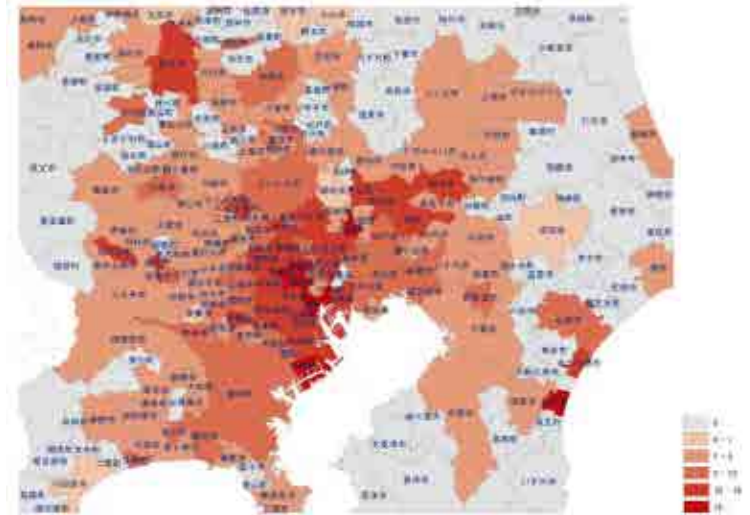


# 課題①: 首都圏からの感染の染み出し

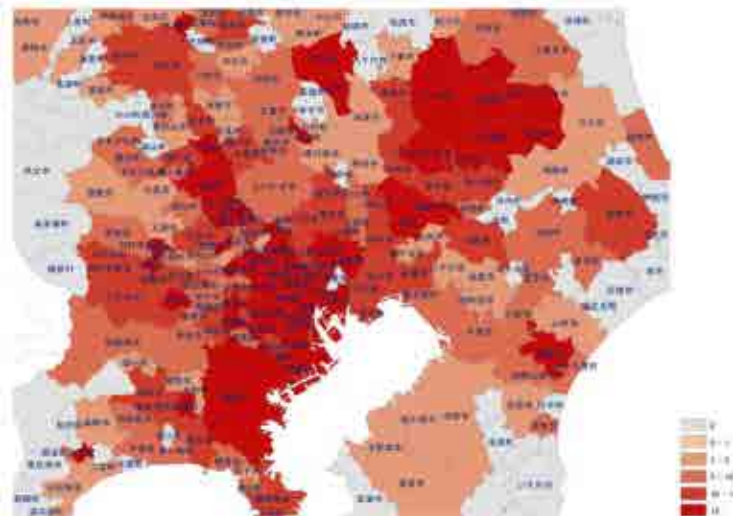
Week 43  
10/19-  
25



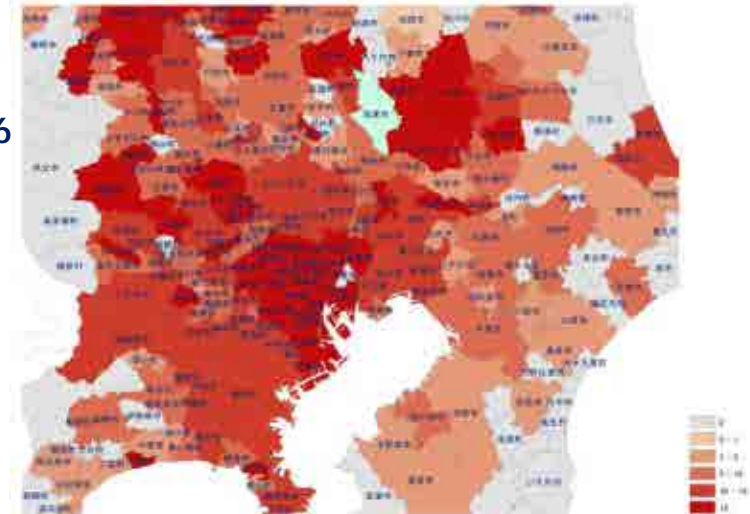
Week 45  
11/2-8



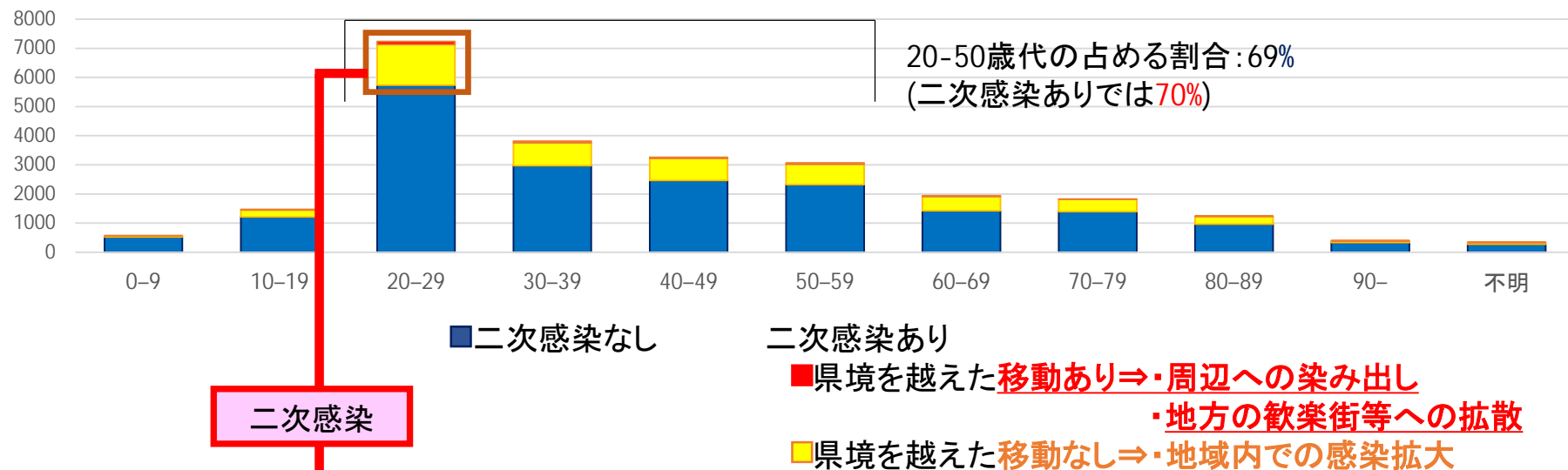
Week 47  
11/16-  
22



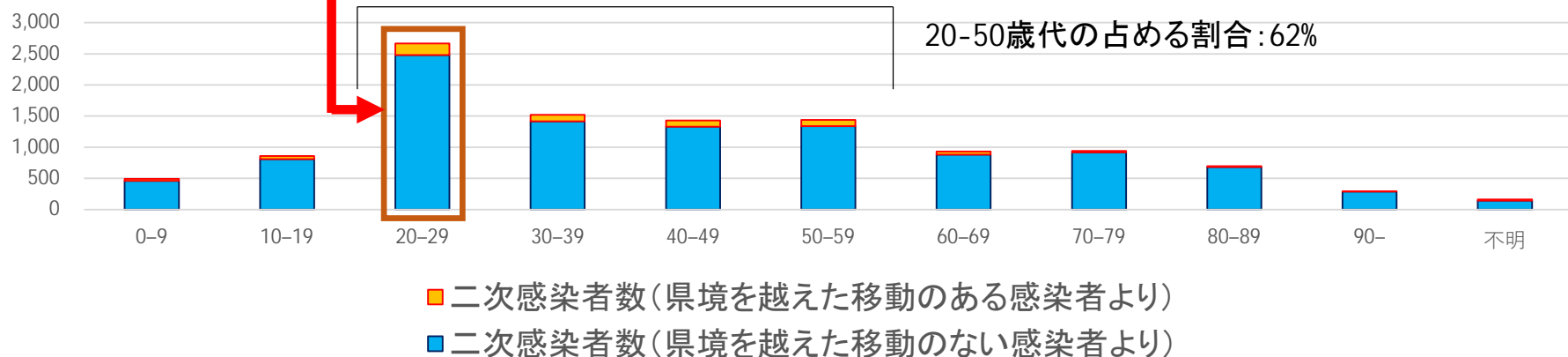
Week 49  
11/30-12/6



## 感染拡大はなぜ生じる？



二次感染



# 歓楽街や飲食を介しての感染が感染拡大の原因

家族内感染や院内感染は感染拡大の結果である

感染経路別の症例数ピークの推移

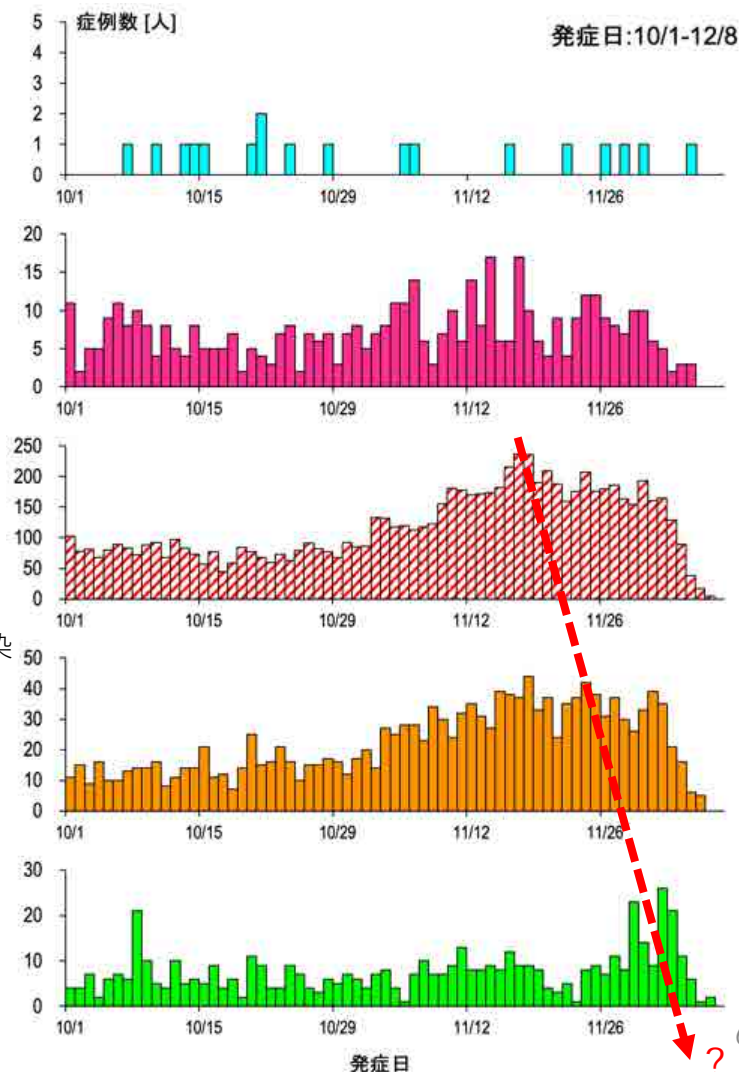
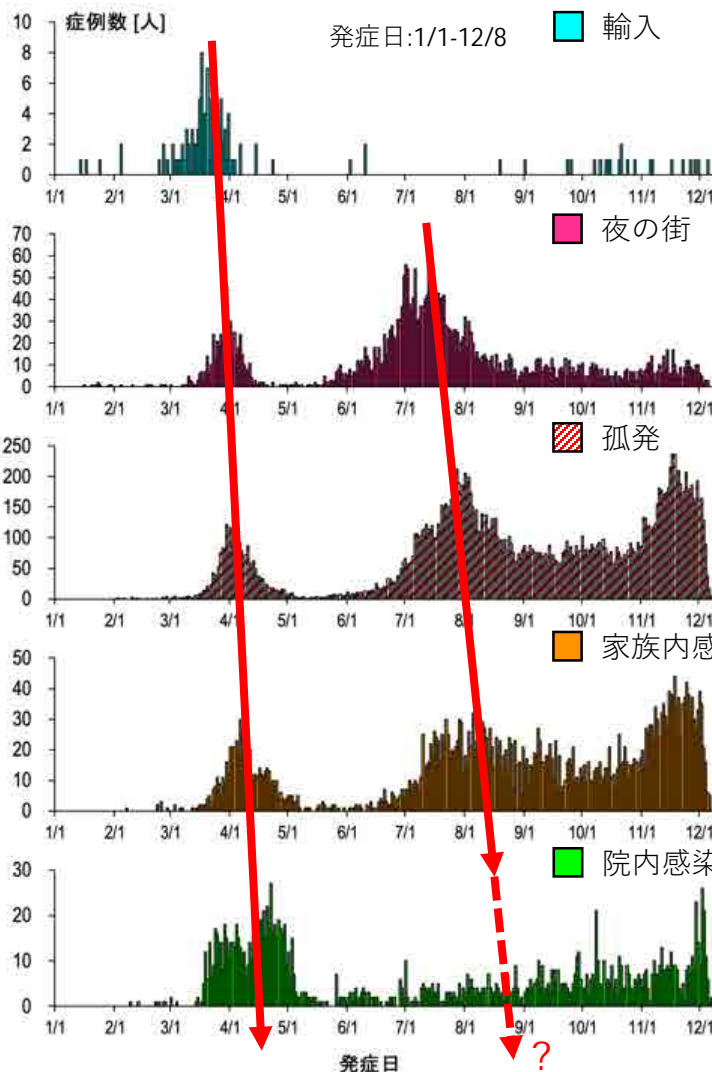
輸入

夜の街（歓楽街）  
（接待有無問わず）

孤発（飲食等？）  
（夜の街を除く）

家族内感染

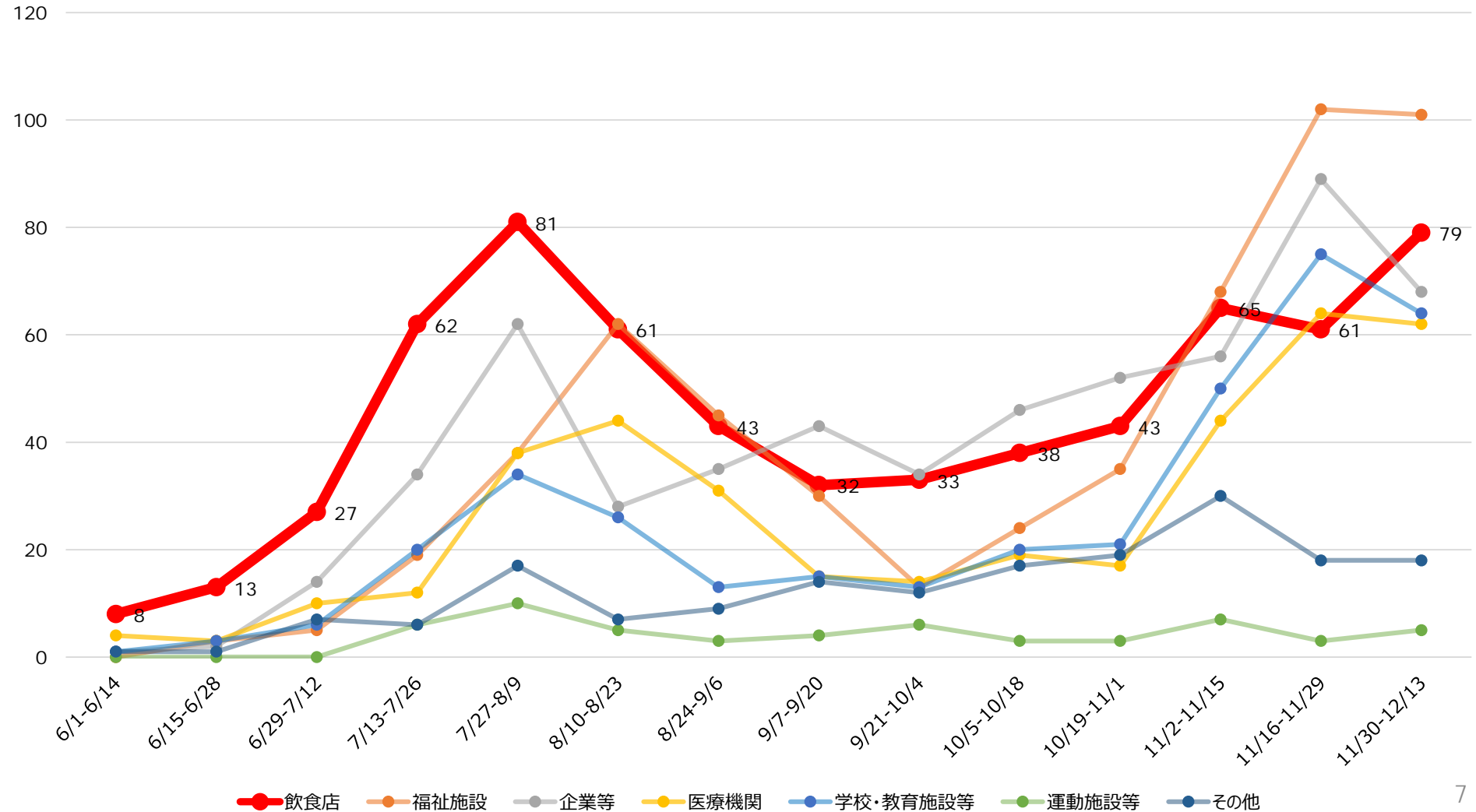
院内感染



# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

見えているクラスターだけを見ても  
**飲食店**でのクラスターが**多い**

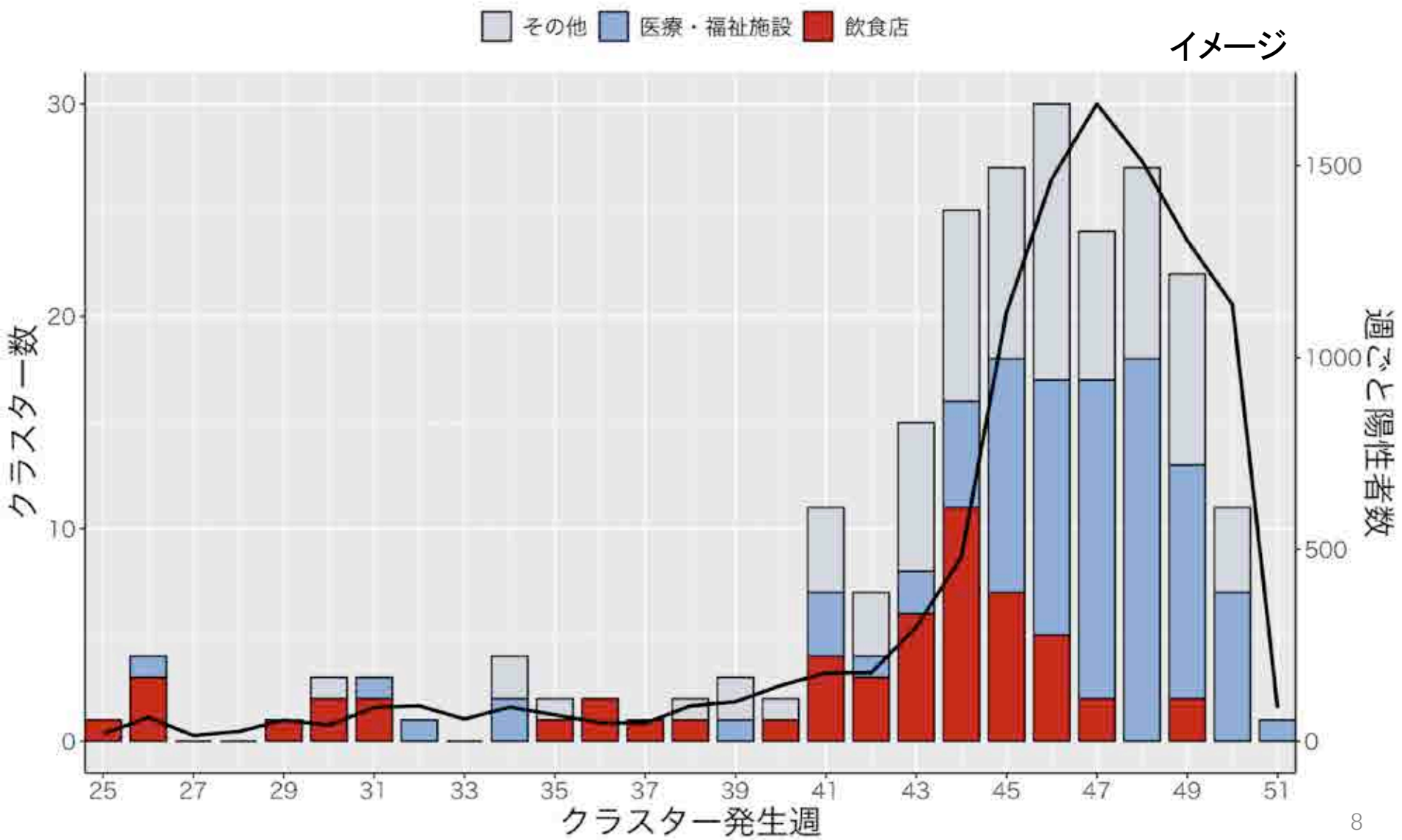
クラスター発生状況 場所別分類 (発生件数)





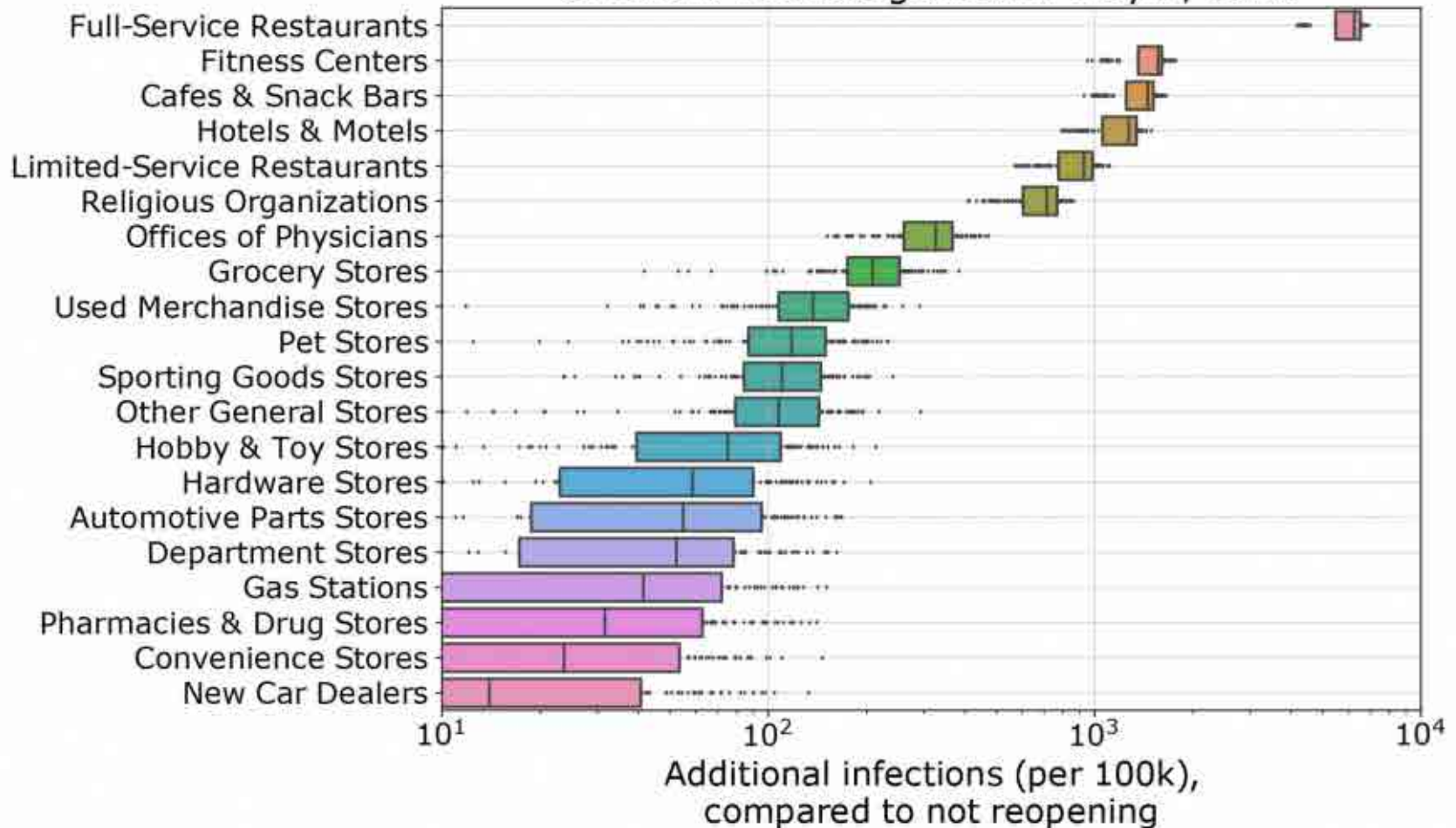
# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

クラスタの発生は飲食店で先行した後に医療・福祉施設で発生する



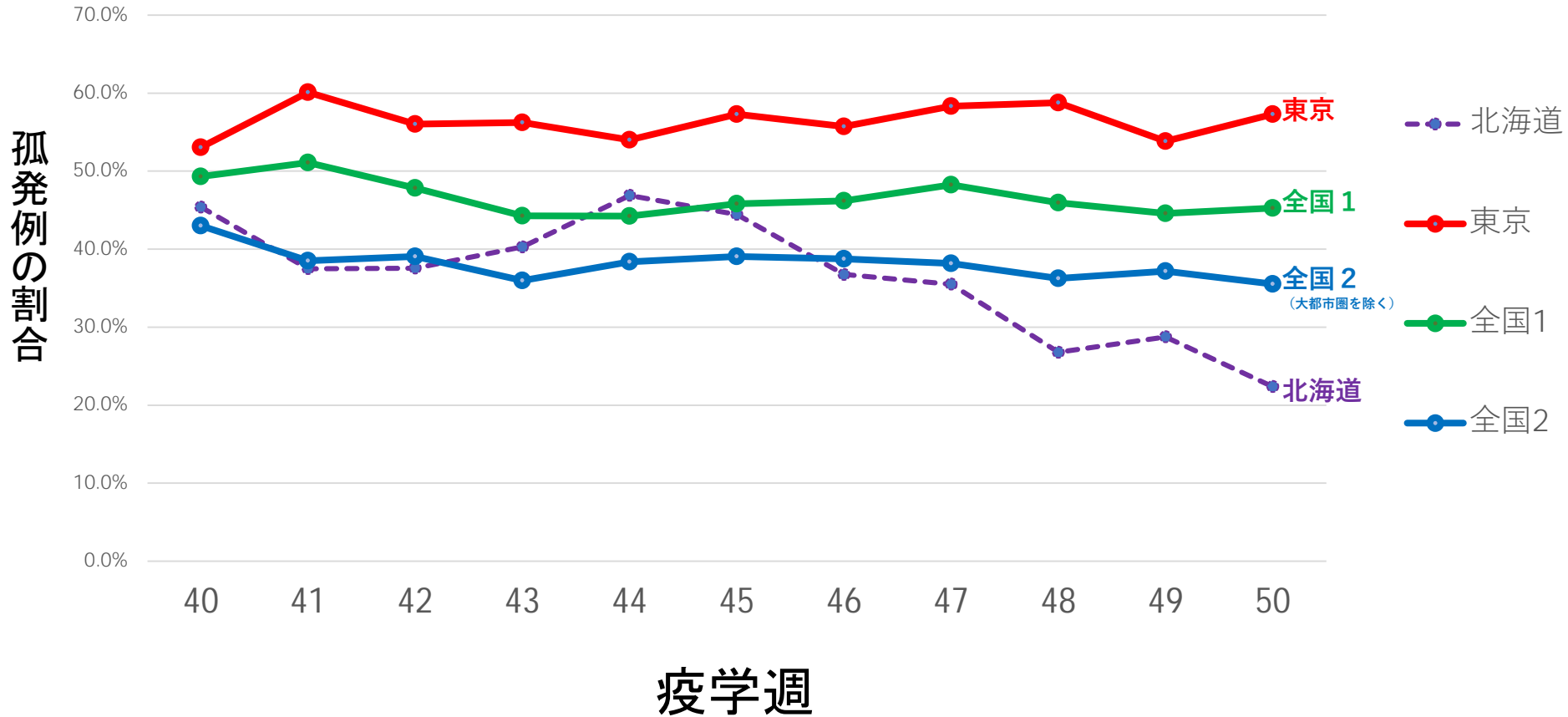
## レストランの再開が感染を最も増加させる

Predicted increase in infections from reopening different POI categories on May 1, 2020



# 課題③：感染拡大の重要な要素の1つ：飲食を介しての感染

特に都市部では孤発例が多い



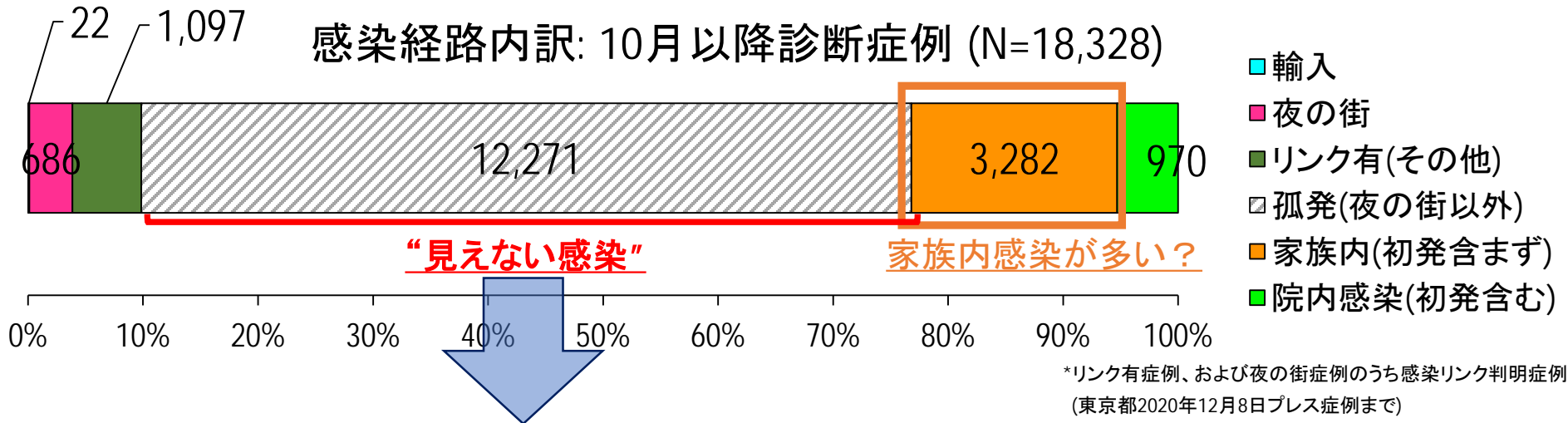
大阪府は発症日データが公開されていないために上記データに含まれていない。

全国1：大阪府を除く全国平均

全国2：埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・愛知県・大阪府・兵庫県を除く全国平均

# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

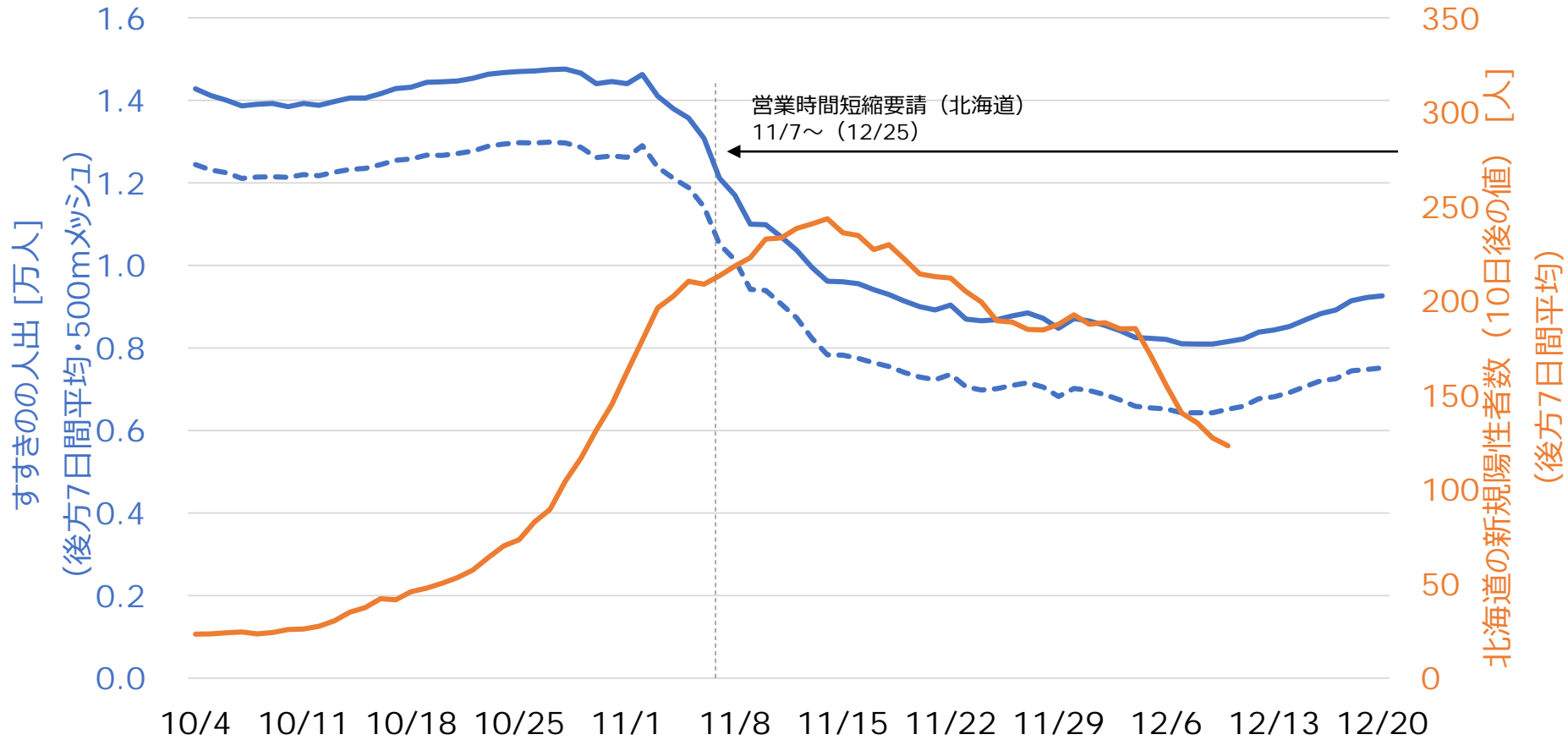
例えば東京都では“見えている感染”だけを見ると家族内感染が最も多いが  
“見えない感染”を“見る”と…



1. 東京などの都市部では、感染者数が多いことに加え、人々の匿名性が地方に比べ高いことから、感染経路不明(“見えない感染”)の割合が多い(東京都では約6割)。
2. しかし、この感染経路が分からない感染の多くは、飲食店における感染によるものと考えられる。その理由は以下a b cである。
  - a. これまでのクラスター分析の結果、日常生活の中では、飲酒を伴う会食による感染リスクが極めて高く、クラスター発生の主要な原因の一つであることが分かっている。
  - b. 感染経路が判明している割合の高い地方でも、飲酒を伴うクラスター感染が最近になっても多く報告されている。
  - c. 欧州でもレストランを再開すると感染拡大に繋がることが示されてる。

## 歓楽街の人出推移と新規陽性者数【北海道】

- すすきの人出 (21時後方7日間平均, 500mメッシュ)
- - - すすきの人出 (22時後方7日間平均, 500mメッシュ)



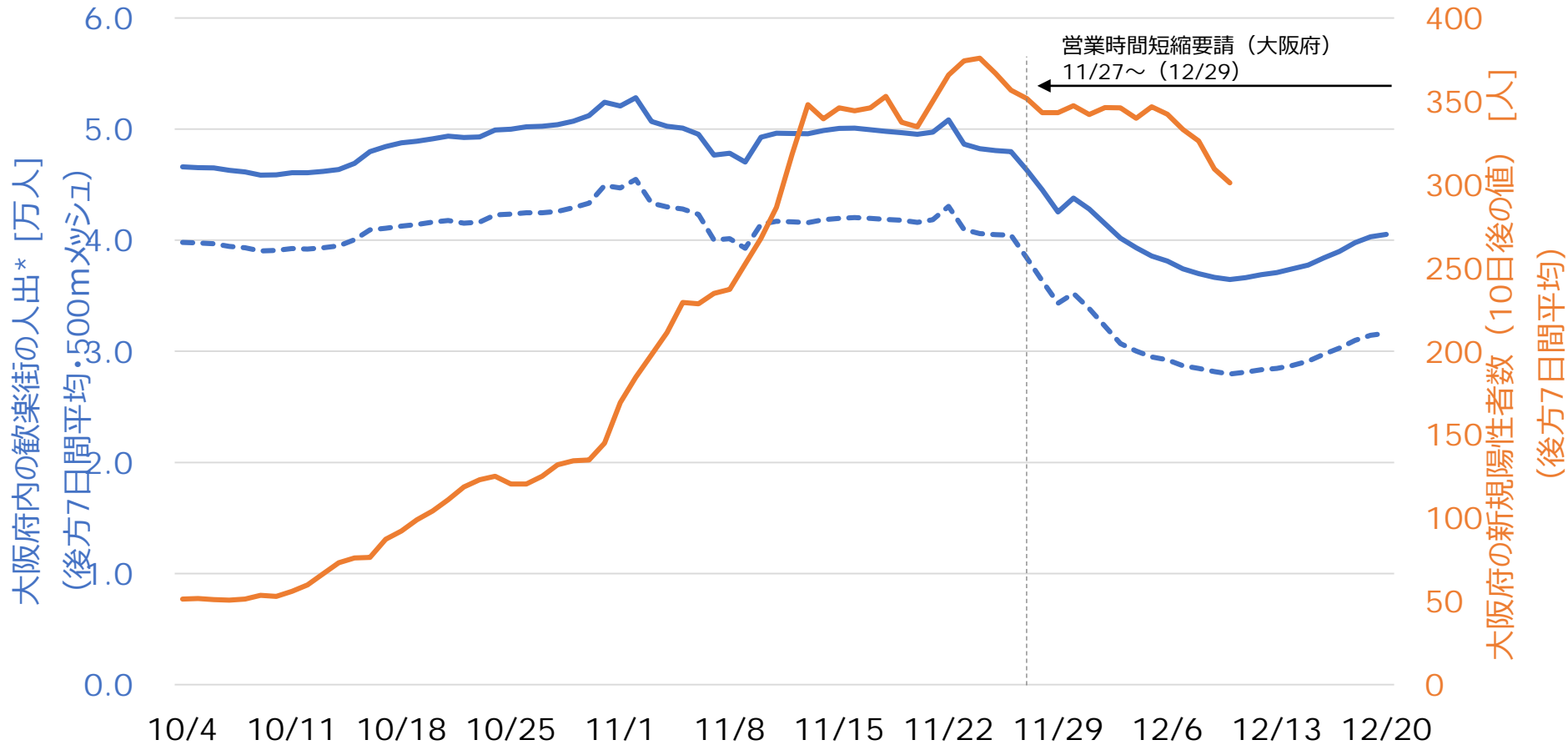
(注) 陽性者数は、報告日ベースの数値を10日間前倒した数値としている。(例: 10/4の数値は、10/14の陽性者数 (報告日ベース、後方7日間平均) )



# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

## 歓楽街の人出推移と新規陽性者数【大阪府】

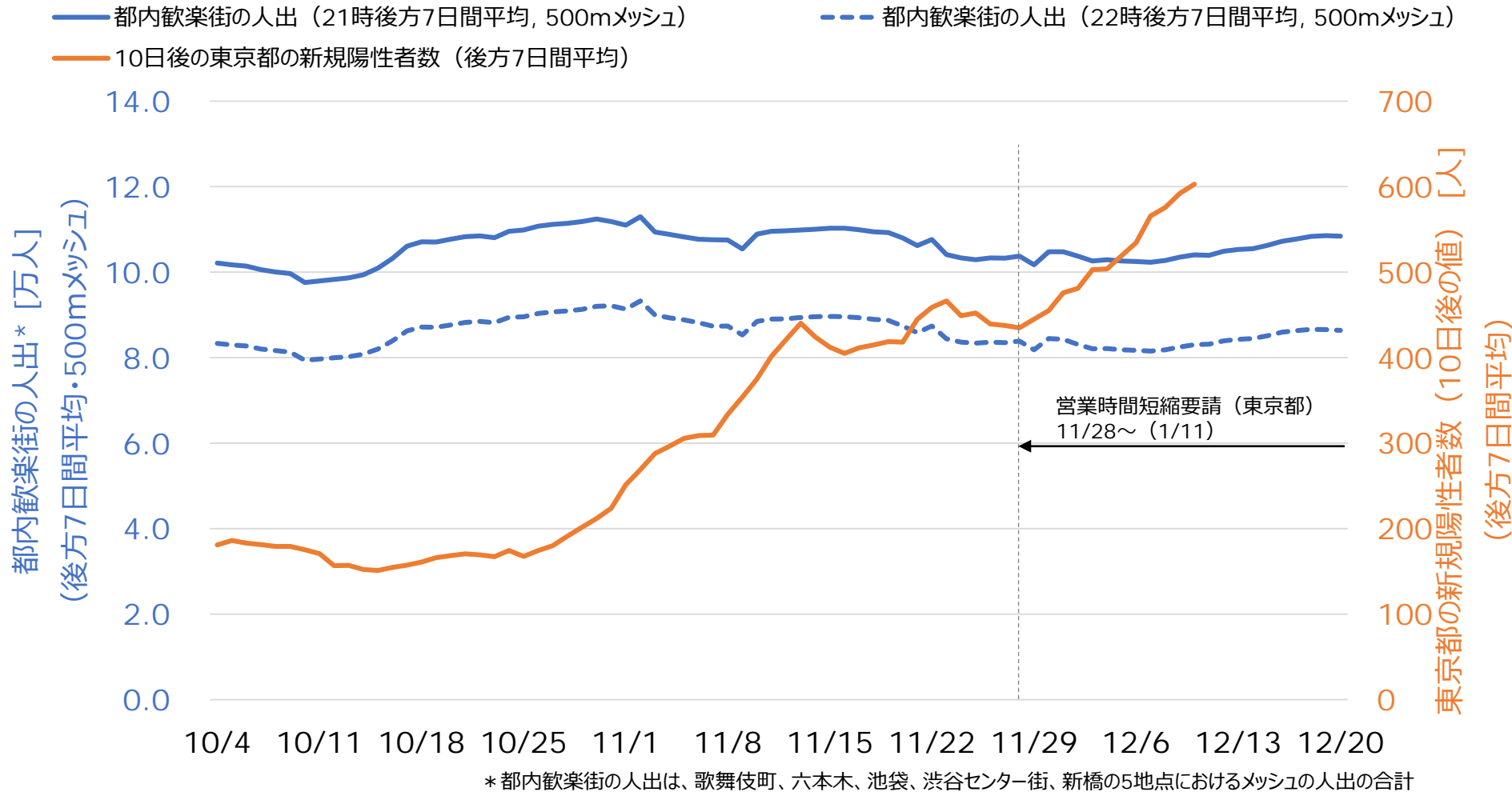
- 大阪府内の歓楽街の人出 (21時後方7日間平均, 500mメッシュ)
- - - 大阪府内の歓楽街の人出 (22時後方7日間平均, 500mメッシュ)
- 10日後の大阪府の新規陽性者数 (後方7日間平均)



\* 大阪府内の歓楽街の人出は、ミナミ、北新地、心斎橋の3地点におけるメッシュの人出の合計

(注) 陽性者数は、報告日ベースの数値を10日間前倒した数値としている。(例: 10/4の数値は、10/14の陽性者数 (報告日ベース、後方7日間平均) )

## 歓楽街の人出推移と新規陽性者数【東京都】



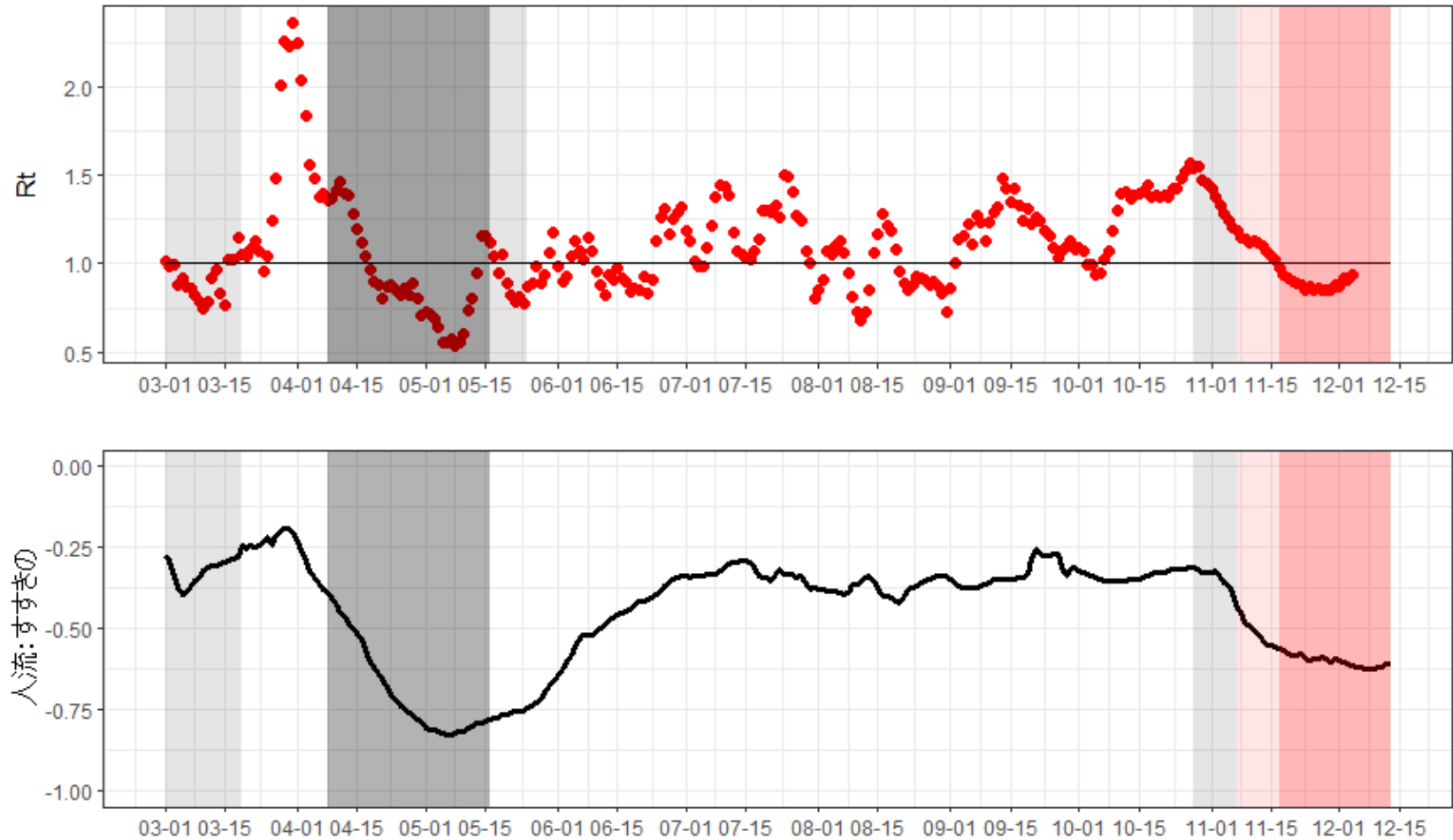
(注) 陽性者数は、報告日ベースの数値を10日間前倒した数値としている。(例: 10/4の数値は、10/14の陽性者数 (報告日ベース、後方7日間平均) )

# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

## 実効再生産数（推定感染日毎）：北海道

緊急事態宣言

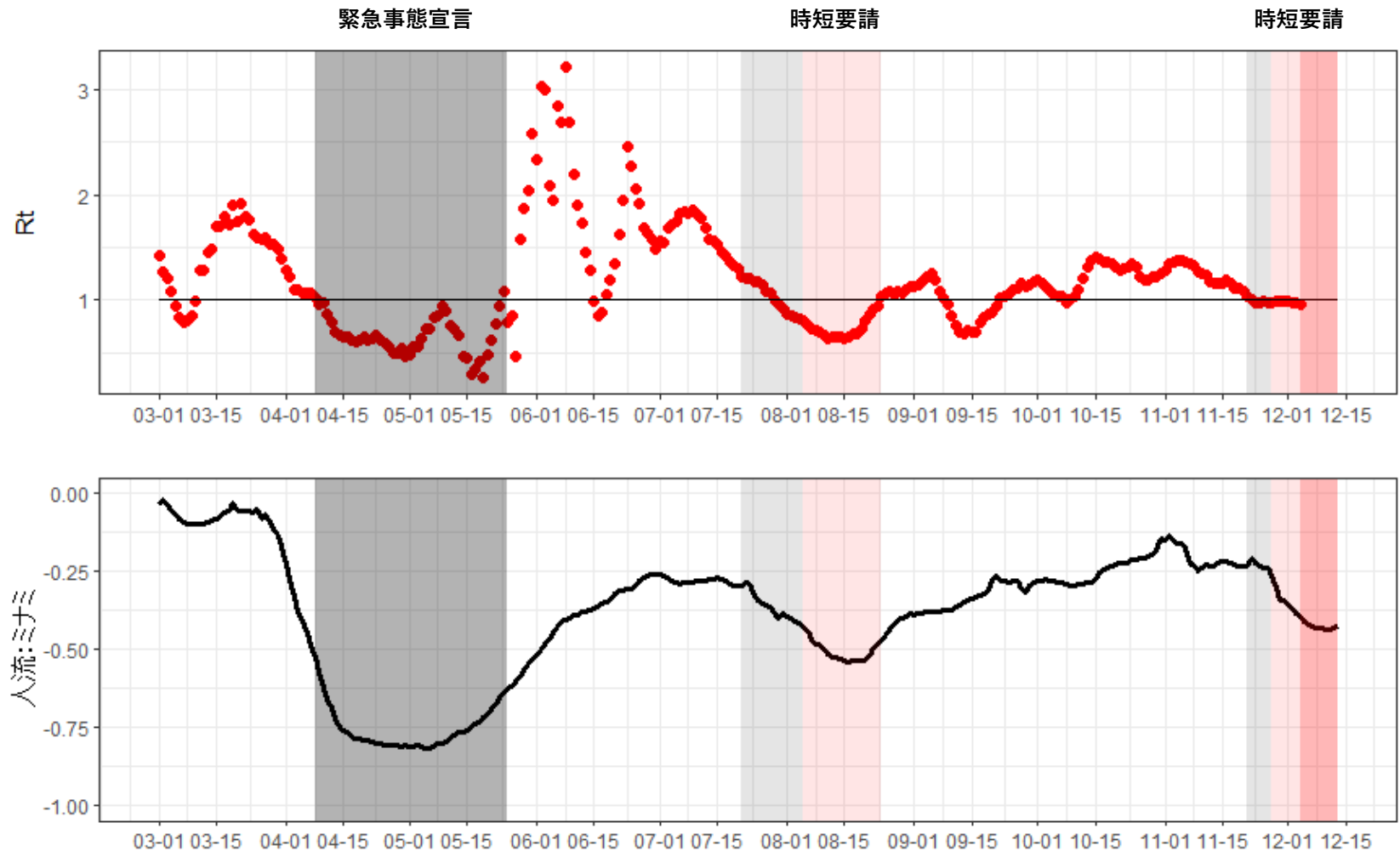
時短要請



実効再生産数は推定感染日（発症日マイナス5日、発症日不明例については推定発症日マイナス5日）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。人流データはNTTドコモ モバイル空間統計のものを用いた。

# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

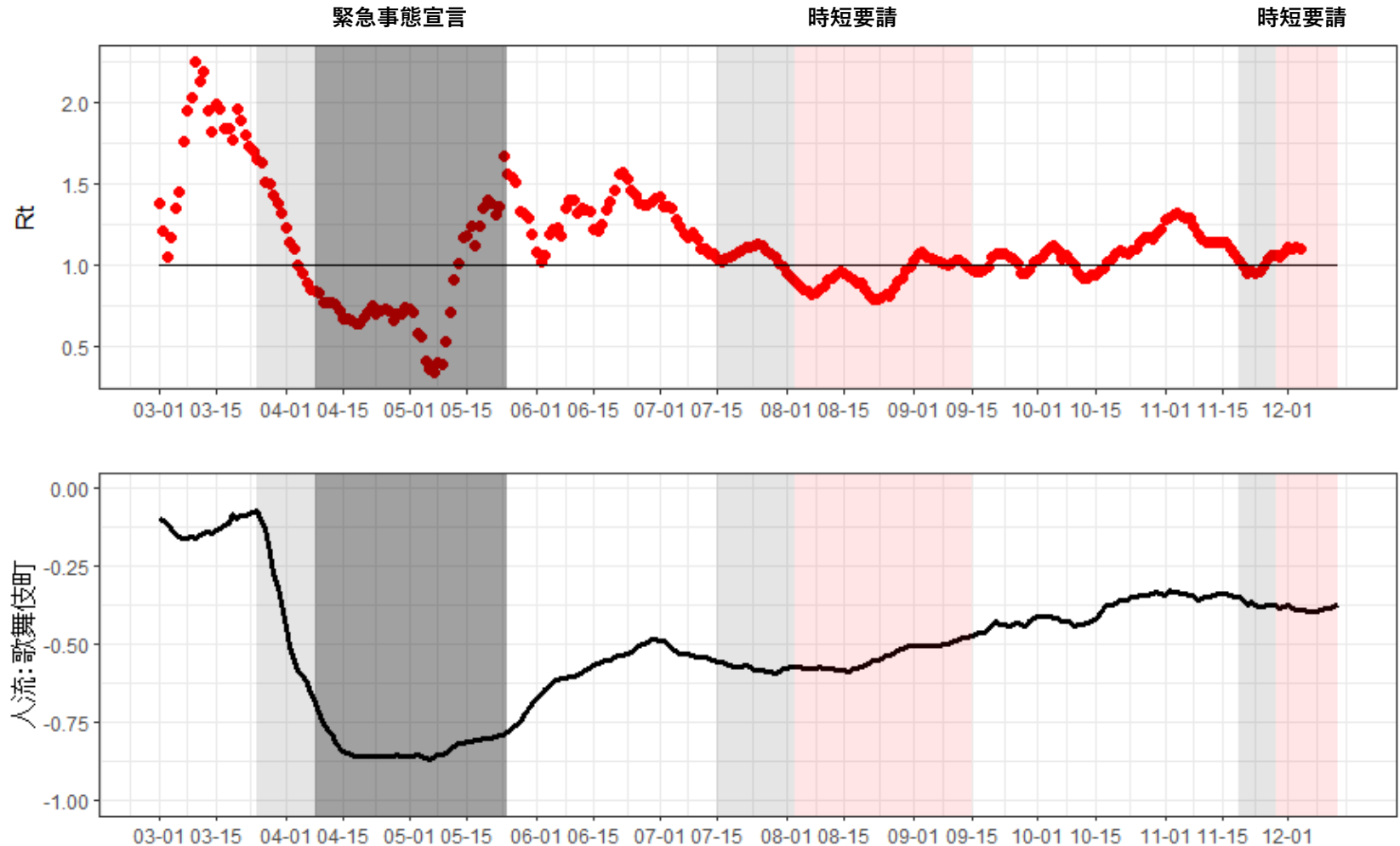
## 実効再生産数（推定感染日毎）：大阪府



実効再生産数は推定感染日（発症日マイナス5日、発症日不明例については推定発症日マイナス5日）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。人流データはNTTドコモ モバイル空間統計のものを用いた。

# 課題③: 感染拡大の重要な要素の1つ: 飲食を介しての感染

## 実効再生産数（推定感染日毎）：東京都



実効再生産数は推定感染日（発症日マイナス5日、発症日不明例については推定発症日マイナス5日）ごとにCori et al. AJE 2013の方法でwindow time=7で推定した。人流データはNTTドコモ モバイル空間統計のものを用いた。



# 現在の状況をどのように捉えているか？

1. 既に多くの方が感染対策に協力して頂いていますが、この状況に慣れ、さらなる協力の要請に対し辟易している方が多いと思います。その気持ちは私たちもよく理解しております。
2. しかし、状況に慣れたと言っても、冬を迎えての対策は初めての経験です。「勝負の3週間」が終わり、シナリオ1になった地域がある一方で、シナリオ2あるいは3になった地域があります。特に感染が拡大している首都圏を沈静化させないと、全国の感染を沈静化することができないと考えます。
3. なお、地方においても、歓楽街でクラスターが多く発生し、地域内での感染拡大の主要な原因の一つになっています。
4. 現在、シナリオ2あるいは3の地域であっても、国や自治体、社会を構成するすべての人々が、それぞれの立場でできる感染対策を行うことで、年末年始には感染状況を下方に転じさせることは可能だと考えます。

# 全国の皆さんへのお願い

本格的な冬となり、感染が拡大しやすい季節を迎えました。

20-50歳代の人は、感染しても無症状や軽症のまま、人に感染させる可能性があります。気づかぬうちに、家庭内に感染が広がり、大切なおじいさんやおばあさんなどが重症になった事例が多く報告されています。そして、気づかぬうちに、親しい友人や職場の仲間に感染させてしまうと、彼らのおじいさんやおばあさんが重症化することにもつながります。

基本的な感染予防策をさらに強めることが、人の命を守ることにつながります。

この厳しい冬を乗り切るため、これまで以上のご協力をお願いします。

# 全国の皆さんへのお願い

4月の緊急事態宣言を出した当時には感染を収束させるために、広範に社会経済を抑制するという方法を取らざるを得ませんでした。しかし、この半年以上の経験を通して私たちは多くのことを学び、いわゆる“急所”を押えることができれば感染を収束させることが可能であることが分かってきました。

皆さんにおかれては、年末年始に向けて、以下の“急所”だけは是非押さえるようお願いいたします。

## 1. 忘年会・新年会などについて

食事の際の会話は、飲酒の有無、昼夜・場所にかかわらず、感染が生じやすい場面です。

(1) 食事は、静かにいただきましょう。

(2) 家族・いつもの仲間で、5人以上は控えて、すいている場所を選びましょう。

(3) おしゃべりするときはマスク着用。少なくともハンカチなどで口元をおさえましょう。

## 2. 年末の買い出しや初売りについて

年末年始には、買い出しや初売りとして、買い物のために人が多く集まる場所に出かけることが多いと思います。しかし、今年の年末年始は、特に、ぜひ少人数で、混雑する時間を避けてお出かけください。事業者の方々もご協力をお願いします。

## 3. 帰省について

帰省の際には、感染防止策を徹底して、大人数の会食は避けてください。そうした対応が難しい場合には帰省について慎重に検討してください。

# 都市部の皆さんへのお願い

特にこの年末年始は、多くの方にご協力頂き、帰省を見送って頂いたことで、都市部には例年よりも多くの方が留まることとなります。

例年、年末年始は医療機関などの体制が手薄になりますが、特にこの年末年始は、例年よりも多くの方が暮らす中で、通常の医療を含めて、医療機関が逼迫することも考えられます。

皆さんに置かれては、年末年始を静かに過ごすようよろしくお願い致します。

# シナリオ2の地域の皆さんへ

シナリオ2の地域では、これまでの対策の効果が少しずつ見え始めていることから、これまでの対策を徹底して、可及的速やかに感染を下方に転じさせるようにお願いします。



# シナリオ3の地域の皆さんへ

シナリオ3の地域では、これまで対策が取られてきたにもかかわらず、感染が増加しています。したがって、人の移動や接触の低減を含めた更なる強い対策が不可欠です。

そのため、シナリオ3の地域では、年末年始に向けて、次のことをお願いします。

1. 忘年会・新年会は基本的に見送ってください。

(どうしても行う場合は、家族・いつもの仲間で。5人以上は控える。)

2. 帰省(とりわけ感染地域とそれ以外の地域での往来)も、ご家族と相談の上、控えることや延期・分散も含め慎重に検討してください。

3. イルミネーションについては早めの消灯。カウントダウンイベントなどについてもオンラインを活用した形で開催。いずれにしても混雑する時間は避けることなどをお願いします。

# 国とシナリオ3の自治体の皆さんへ

飲食を中心として感染拡大していると考えられるため、飲食店などの営業時間のさらなる短縮の要請を含め会食・飲食による感染拡大リスクを徹底的に抑えることが必要と考えられます。

幅広い事業者等を休業させるような緊急事態宣言を出すような状況にはありませんが、このままの感染拡大が続くと、更に医療が逼迫することは明らかです。

現在、首都圏が感染者の多くを占めており、また、首都圏では都市部から周辺に感染が染み出している状況にあります。大都市における感染を抑制しなければ、地方での感染を抑えることは困難です。

したがって、関係する都道府県知事の更なるリーダーシップを早急に発揮し、対策をさらに強化して頂くようお願いいたします。また、国としても更なる後押しをして頂ければ、年末年始には感染状況を下方に転じさせることは可能だと考えますので、是非よろしくお願いいたします。